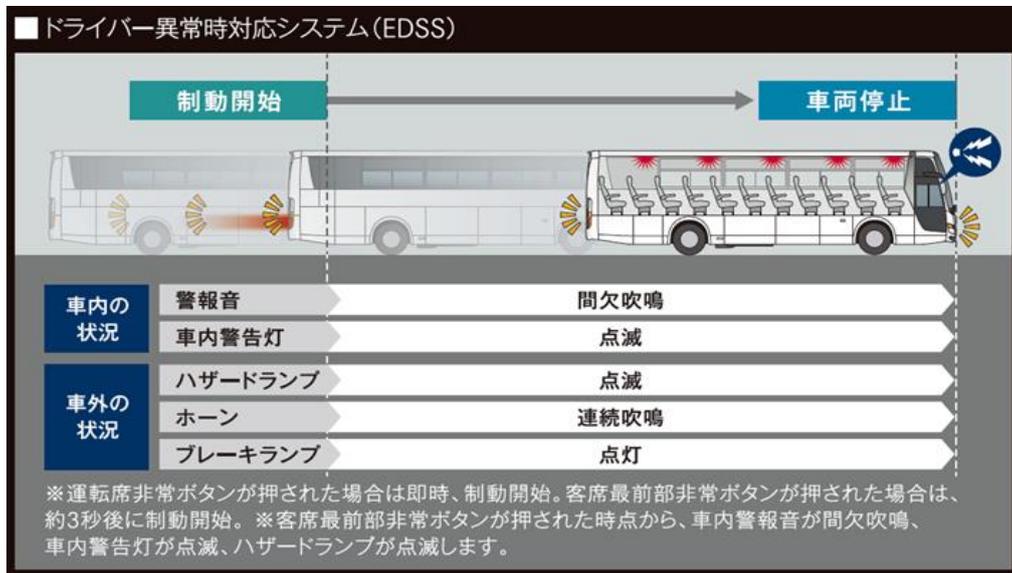


2019年4月26日
京成バス株式会社

「ドライバー異常時対応システム」搭載 新型高速バスを導入しました

京成バス（本社：千葉県市川市、社長：齋藤 隆）は、「ドライバー異常時対応システム」（EDSS: Emergency Driving Stop System）を搭載した新型高速バス1両を導入し、4月から運行を開始しました。



非常ボタン（客席最前部2カ所）



非常ボタン（運転席左側）

このシステムは乗務員に異常が発生した際、運転席左側と客席最前部（2カ所）にある非常ボタンを押すことで車両を緊急停止する安全装置です。システムが作動すると車内外に音と光で警告するとともに、車両が徐々に減速し、周囲に緊急停止を報知します。

当社はこれまで、「衝突被害軽減ブレーキ」「車線逸脱警報装置」等の安全装置を搭載した車両の拡充に努めてまいりました。今回新たに「ドライバー異常時対応システム」の搭載車両を導入し、更なる安全性の向上を図りました。当社はお客様に安心・安全にご利用いただくため、これからもバス輸送サービスの安全対策に取り組んでまいります。

「ドライバー異常時対応システム」搭載車両（高速バス）の概要

1. 車 種：三菱ふそうトラック・バス製『エアロエース』
2. 定 員：56名（正座席44名＋補助席11名＋運転席1名）
3. 安全装置：ドライバー異常時対応システム
衝突被害軽減ブレーキ
「アクティブ・サイドガード・アシスト」
「アクティブ・アテンション・アシスト」
4. 運行路線：新松戸駅・松戸駅～羽田空港

